



集落支援だより

夏の足

春の人足から数か月余りで草木は生い茂り、夏の足足時期になりました。

中町集落では地域おこし協力隊3名の協力のもと、約5キにおよぶ水路の草刈りが行われました。例年は、大学生をはじめとした町外の人が手伝いに来ていましたが、新型コロナウイルスの感染防止の



地域おこし協力隊 集落支援担当

たかひろ 渡辺 貴洋 隊員

じゅん 池田 潤 隊員

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺と池田です。

今月の集落支援だよりでは、夏の足と福島大学の学生との交流会の様子についてお届けします。



人足の様子



人足の様子

ため春に続き夏も受け入れはせずに作業を行いました。作業をしてみると、人手不足や高齢化の問題を目の当たりにします。他の集落でも今まで作業ができていたところ

ができなくなってきたり、作業時間が長くなったりしていると思います。このほかにも、イノシシによる被害があちらこちらで見られるなど、人足を通して地域の問題が見えてきます。しかし、人足には作業しながらの交流や達成感を感じられる楽しみもあります。これからは人足がイベントとして確立できるように努めていきたいと思えます。

福島大学の学生とオンライン交流会

福島大学岩崎ゼミの3、4年生32名とオンラインでの交流会を実施しました。現在、岩崎ゼミの学生は、①中町集落の聞き書きの冊子作成、②来訪者向けの奥川魅力マップ作成、③中町集落の屋号マップ作成の3つの活動を行っています。



オンライン交流会の様子

こうして形として残るものを作成することで集落の魅力の再発見や、今あるものを次世代へとつなげることができているのではないかと思います。オンライン交流会ではこうした活動に関して意見を交わしました。今後は、9月に奥

川地域の調査を行う予定であり、大学生の視点で作られられたものを見ることが今から楽しみです。

集落支援の内容の聞き取り

人足の支援や集落の巡回・見守りなど、各集落が必要とする集落支援の内容を把握するために集落への聞き取りを行っています。

これは、昨年度、高齢化率が40%以上の集落を対象に実施した集落調査のアンケートをもとに実施しています。奥川地区だけでなく、尾野本地区の上谷、下谷などにも訪問し、現状や支援内容を伺っています。これまで行った聞き取りでは、どの集落でも人足が今までのようにはいかなかったっており、人足の支援が課題として挙げられています。このことから、町全体での担い手の不足が顕著になっていることが分かりました。今後も聞き取りへのご協力をお願いします。